

スマホの選び方

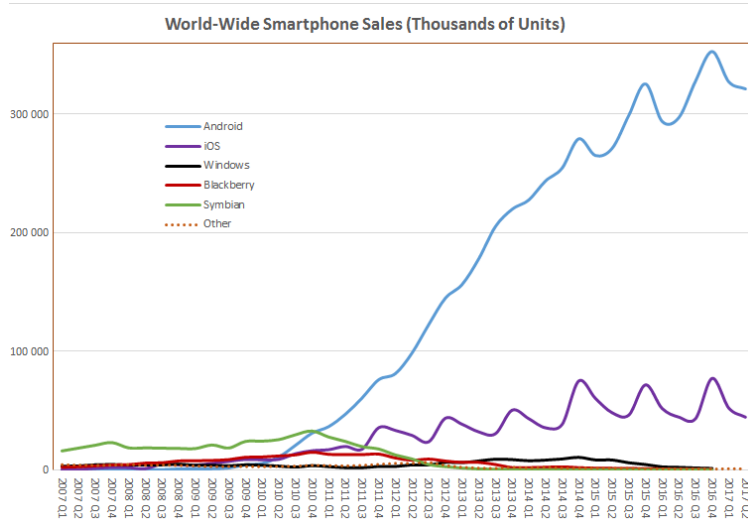
2018 年 7 月 23 日

By ミケパパ

使ってみると分かりますが、スマホは「超小型のパソコン」です。今や、好むと好まざるにかかわらず、「スマホを持っている」前提の情報が溢れています。スマホの購入を検討されている方に、基本的なスマホの「選び方」を述べてみたいと思います。

1. アンドロイドか 아이폰か？

スマホを動かす OS で大別しますと、「アンドロイド」を搭載した「アンドロイドスマホ」と「iOS」を搭載した「 아이폰」に分かれます。（厳密にはウィンドウズなどその他の OS もありますが、無視してよい）世界シェアは、アンドロイドが 8 割近く、残りが 아이폰です。ただ、日本では 아이폰の方がやや多いようです。 아이폰の方が先に世に出たからでしょうか？



* OS 別スマホの販売台数推移

簡単に比較しますと

1) 機能(できること)の差はあまりない。(操作や表示画面は結構違いますが)



2) 아이폰はアップル社製のみですが、アンドロイドスマホのメーカーは多岐にわたり、それ故表示画面はメーカーで微妙に違います。(OS のアンドロイドは Google 社製)

3) スマホ自体(端末)の価格は、概ね 아이폰の方が高価です。

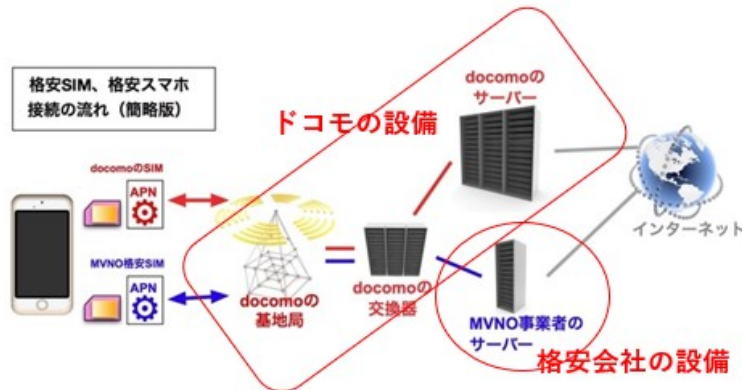
どちらがいいか？は私にはわかりませんが、3 万円のアンドロイドで、今のところ問題はありません。

2. キャリアか格安か

「キャリア」と「格安」:

日本では、日本では NTT ドコモ、AU、ソフトバンクの 3 社がスマホ用の地上局を全国に建設しています。(キャリアといいます)

「格安スマホ」会社は、ドコモや AU から回線を借りて運営していますので、設備費がかからない分、我々の利用料金は安くて済みます。全国に約 600 社あるとか。(シェアはまだ 16%)



キャリア＝サービスの内容によりますが、利用料は毎月 6,000 円～8,000 円と高いですし、2 年縛りとか納得できない慣習もあります。ただ、店舗を構えていますので、ガラケーからの切り替え時などは対面で対応してくれます。初期設定も(有料ですが)してくれます。

格安会社＝あまり通話はしないのであれば毎月 2,000 円程度の利用料で済みます。この安さが魅力ですが、基本的には「ネットによる契約」であり、「スマホに SIM カードを入れる」といった初期の設定を自分でやらないといけません。どなたか手助けしてくれる方がいればこちらの方が得ですね。

店舗も持つ格安会社:

格安でも店舗を持ち、店頭で端末販売と初期設定をしてくれる会社があります。

楽天モバイル…全国に独立店舗あり。千葉そごうにも。

イオンモバイル…イオンのモール内に店舗を持つものがある。

トーンモバイル…DVD レンタルで有名なツタヤの店舗で対応してくれるとか。

その他、ネット情報では mineo とか IIJmio とかいった会社があるそうです。

キャリア各社の格安子会社:

キャリア各社も格安スマホ並み利用料の子会社を持っています。ただし、一般の格安会社よりは「やや高い」です。(同じサービスなら月 1,000 円～2,000 円くらい?)

NTT ドコモ → OCN モバイル ONE

AU (KDDI) → UQ モバイル

ソフトバンク → Y モバイル

これらの利点は、ご自分のガラケーと同じ会社であれば、データ移行とかが楽でしょうし、いろんな特典サービスがある(らしい)です。又、概ね店舗を持っていますので、キャリアと同様に初期設定もやってもらえます。

NTT docomo

au

SoftBank

R Mobile

Y! mobile

3. サービスの内容

購入前に「自分は何をやりたいのか」をはっきりさせておきましょう。

スマホの利用料金は「データ通信料金」+「通話料金」です。

例えば、楽天モバイルを例にとりますと、

データ通信＝3.1GB + 通話 → 1,600 円(税別)

です。データ通信は、ゲームなどを頻繁にやらないシニアの場合、2GB もあれば十分と思います。

通話料金は、これに上乗せして「10 円／30 秒」です。(高いですね)

電話での会話が多い方なら、いろんな格安プラン(カケホーダイとか)がありますので、利用しましょう。

格安スマホでは、「楽天電話」などのアプリを使って通話しますと、「10 分以下なら無料でカケホーダイ」といったサービスがあります。もちろんこのサービスは有料(楽天電話だと 850 円／月)です。

*ただし、この格安通話アプリは、110 番、119 番など緊急番号にはつながりませんので、普通の通話料金のほかにこの格安サービスを組み合わせることをお勧めします。普段の通話は格安サービス、緊急時のみ普通の通話、です。

お店に行きますと、色々なサービスを一杯紹介されますので、「電話中心か」「検索中心か」をはっきりさせておきましょう。

又、購入後、有料の「サポートサービス」もあるそうなので、これを利用するべきかどうか？ 既にスマホをお持ちの方に聞いておきましょう。(私自身は、そんなに壊れるものではないので、適当に触っていれば使い方はおのずと分かる、と感じています)

4. 楽々スマホ？

シニア用に画面の表示を大きく、見やすくし、かつ機能を制限して格安にした「楽々スマホ」が各社から発売されています。これは、端末価格も安いし、使い勝手もよさそうですが、「使えない機能」(例：PlayStore がない、など)が機種により、通信会社により異なるようですので、「自分のやりたいこと」ができるかどうか？を事前に明確にしてから購入いたしましょう。

ネット情報では、ツタヤの「トーンモバイル」がシニア向けとしては評判がよろしいようです。

*「らくらくスマートフォン」は、富士通の商標ですが、他社製品も類似の命名がされています。

5. 端末の購入

端末の値段もピンキリです。一般的に言って

아이폰 > アンドロイドスマホ (>は「高価」という意味)

アンドロイドでは

日本製 > 台湾製 > 中国製 です。

1 万円という安価なものから、10 万円を超えるものまであります。私が使っているのは、台湾製の 3 万円ほどのものですが、特に不満はありません。「価格.com」で買いました。ネットで購入すれば店舗より 2 割程度安いですが、この際には初期設定を自分でやる覚悟が必要です。

1 万円とかあまりに安いものは、楽スマでなければ、避けた方がよろしいと思います。

価格は、お店で買うにしても、事前に「価格.com」や「アマゾン」などのネットショップで機種と価格を調べてから行きましょう。

アメリカ政府は、ファーウェイ(Huawei)のスマホにバックドア(情報を密かに特定の相手に送信する抜け穴)のウィルスが仕掛けられており、セキュリティ上の問題があるという理由で米国内での販売を規制しています。虚実是不明ですが、13 億人の国民全員を登録監視するというとんでもない規制を真面目に実行している中国政府なら、やりかねないのかな、と思っています。

6. セキュリティソフト

スマホに感染するウィルスも報告されていますので、セキュリティソフトは必須です。購入時の料金プランに、たいていの場合セキュリティソフト代を含むかどうか聞かれます。ただ、この頃はパソコン用のセキュリティソフトであれば、スマホの含む複数の機器に追加費用無しで導入できるものが多いので、そういう場合は通信会社が進めるソフトを端末購入時に同時購入する必要はありません。事前にご自分のパソコンのセキュリティソフトのことを調べておきましょう。

以上、スマホの購入時に参考になる基本的な知識を並べてみました。

スマホは、一旦持ちますと、なかなか面白いものです。マップで道を調べたり、ふとした疑問を声入力ですべて検索してくれたり。複数の方からお話を聞いて、「自分は何をしたいのか」をよく理解してから購入されることをお勧めします。